

自由記述欄に寄せられたご意見に園としての考え（反省・説明・理解・お願い等）をまとめましたので、ご一読願います。

（こども園つみき）No. 1

部門	自由記載内容（一部要約）	自由記載内容に対する検討内容および回答
運営全般	<ul style="list-style-type: none"><li>・玄関の鍵がかかっているようで掛かっていないことが多く、土曜保育の時など人手が少ない時はだれでも園内に入れてしまう状況になっているので改善してほしいです。</li><li>・文字で個人を特定されたくないのでアンケートは Google フォーム等にしてほしいです。</li><li>・園庭の遊具で木材の処理が施されていない。又は劣化による補修が不完全なためのケガを感じます。</li><li>・お迎えの時間の変更や外遊びしてほしいなど、口頭で伝えるしか方法がなく、朝の登園時保育者が教室に1，2人だけしかいないが他の保護者と話し込んでいる時は、待っているしかないで困る。朝体温を書くようにお迎え時間やその日の体調、外遊びの可否など書いていける用紙などがあれば待つ時間も無くなるので助かります。</li><li>・もう少しどのような様子だったか等が聞けると良いなと思いました。</li><li>・毎日の写真付き日記楽しみにしています。日々の様子がよくわかってありがたいです。</li><li>・延長保育時間を午後7時とするならば、朝も7時からに変更してほしい。朝早くに出勤している人もいると思うので、そこを何とかしてほしいと思います。</li><li>・家庭でなかなかできない畑、たき火等、経験させて頂き感謝します。いつもありがとうございます。</li><li>・以上児クラスのお手紙ポストの位置をもっとわかりやすい（取りやすい）位置にしてほしい。お友達が着替えている時（たくさん子どもがいる時）狭くて中に入りづらいです。</li><li>・職員の態度が気になる方がいます。気を付けていただきたい。</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>・玄関ドアは、自然に閉まり自動でロックされる構造になっていますが、最近ドアが閉まりきらないためロックされてないことが多くなってきました。ご指摘のとおり安全にかかわる問題なので、本格的な修理か改築を含めて検討して予算要望する予定です。当面利用者の皆さんにはロックがかかるまで手でドアを閉めていただくようお願いしたいと思います。</li><li>・大変良い提案だと思います。後期アンケートの際に実施できるか、関係者と協議して検討したいと思います。</li><li>・現在の園庭は常に点検、修理、改善しながら運用するのが前提となっています。基本的に毎朝点検して随時修理をしていますが、保護者の方もケガが予見される危険な箇所、状態を見つけられたときは、すぐに教えていただきたいです。</li><li>・急いでいる時は担任・担当に限らず、他の職員や事務室にいる職員に伝えてください。また、メモ用紙など必要な時は、気軽に声をかけてください。</li><li>・知りたいことは気軽に聞いてください。また、登園時にお迎えの時に最近の様子を教えてもらえるよう予約しておく等の方法もありますので、ぜひ声をかけてください。</li><li>・楽しみにしていただいて、たいへん嬉しいです。現行のポートフォリオは、園にとっては保育実践の記録ですが、保護者には我が子とクラスの子どもの成長記録ともいえます。11月からはホームページで閲覧できるようにしたので有効にご活用ください。</li><li>・園で判断して決められることはありませんので、役場担当に伝えます。</li><li>・園の活動にご理解をいただき、大変うれしく思います。</li><li>・お手紙ポストの位置は少し下げることになりました。着替えは中に限らずホールの空いているスペースを活用していただければと思います。</li><li>・改めて気を付けます。今後また、不快に思われた態度や言動等ありましたら、園長、副園長をはじめ他の職員にでも遠慮せず指摘してください。</li></ul>

運営全般	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ロフトや園庭タワーなど、子どもが楽しめるのはいいが、ちゃんと見ていなくて危ない場面を見たことがあるし、ケガも起きているので少し心配。(先生同士で話している事が多く、きちんと見ていないと感じました。) 外の滑り台の角など、前にケガした子がいるのにそのままだったり。</li> <li>・「つきみの暮らし〜」やクラス懇談会で見られる動画を日常的に見られるようになるとありがたいです。写真だけでは伝わらないことが沢山あると動画を見ていると感じます。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ちゃんと見ていないという点につきましては十分注意していきたいと思います。そこで改めてご理解をいただきたいのは、園では保育者が傍についていなくても自由に遊ぶことができ、小さなケガはあっても大きなケガにつながらない園庭づくりをめざしているということです。ご存じの通りほとんどもが手作りの木製遊具ですので、毎朝点検して必要があれば修理をしています。今では子どもたちもグラグラしている。ザラザラしているなど、気になることを教えてください。ご指摘のように保護者の方も危ないと思われたところがありましたら是非教えていただきたいと思います。</li> <li>・現在、園のWiFi環境の整備や各クラスにタブレット端末を配置して園のICT化を推進しているところです。将来的には子どもたちの様子を動画で日常的に見られるような環境にしたいと思っていますが、動画作成のために保育がおろそかになるようなことにはならないようにしたいです。</li> </ul>
感染症対策	<ul style="list-style-type: none"> <li>・コロナやインフルなど、感染症が出ていてもあまり対策されていない。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・一般的に有効とされる感染予防対策としてマスク着用、手洗いうがい、人と人との接触を避ける等の対策があげられますが、残念ながら82人もの乳幼児が生活している本園では、どれも徹底した対策をとることは困難です。また、働く親のための施設ですから学校のように学級閉鎖などありません。園でできる対策は、できるだけ感染者を園内に入れないことです。ちょっと咳が出ているけど元気だからといって登園させた子が、後に発熱してインフルエンザやコロナに罹っていたことがわかって、その時点ですでに他の子も感染しており、さらに感染が広がっていくというケースがほとんどです。 現在のところ、園では感染状況をおがスマなどで情報提供して、保護者に風邪症状がある子は登園を控えてもらうことが一番の対策だと考えています。改めて園の現状と予防対策についてご理解とご協力をいただきたいと思います。</li> </ul>
熱中症対策	<ul style="list-style-type: none"> <li>・今年の夏はすごく暑くて、熱中症対策も大変だったと思います。朝ホールのエアコンがききすぎて寒かったです。誰もいないのに23℃台の日もあったので。</li> <li>・お疲れ様です。いつも子どもを見ていただきありがとうございます。気になったことを何点か書きます。 *熱中症対策でタープかブールで遊ぶのは良いと思うのですが、40℃近い日に外で冷えピタを貼りながら遊んでいて、頭痛いと言っていました。猛暑に近い気温の時は外遊びを控えた方が良いのかなと思います。 (その他の2つの意見はそれぞれの項目の欄に移動しました。)</li> <li>・暑い日の先生たちの配慮が足りなさ過ぎて心配でした。迎えに行くと顔を真っ赤にして「頭が痛い」と言っている日がありました。水分補給の確認もしっかりしてほしいですが、熱中症対策は体のクールダウンも必要なので、命にかかわることだし、そこは1人1人体調に問題がないか、しっかり確認してほしいです。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・気付かず申し訳ありません。また、同じようなことがありましたら遠慮なく知らせてください。</li> <li>・夏に限らず、屋外屋内の遊びの選択は保護者からの要請は勿論ですが、子ども自身に選択させています。外遊びの途中で子どもが申し出たら室内で遊べるようにしています。また、天候や子どもの様子を見て保育者が判断して途中から屋内に入ることを促すこともあります。ご指摘のとおり冷えピタを貼りながら頭が痛いのにそのまま遊ばせていたような状況があったとしたら大変申し訳ありません。十分注意していきたいと思います。今後同じような状況がありましたら、子どもの命にかかわることですからすぐに知らせてください。 ※ 熱中症アラートが発令された日は外遊びを中止しています。</li> <li>・今年のような猛暑は初めての経験でしたが、ご指摘の点に十分反省して次年度に活かしたいと思います。 また、迎えに行くと顔を真っ赤にして「頭が痛い」と言っている日がありました。という記述がありました。そのような状況に気付かず、そのままにしていたら命にかかわる事故につながりますので、すぐに知らせてください。</li> </ul>

<p>たて割り保育</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>• たて割り保育が子どもにとって良かったのかどうか、よくわからないというのが正直なところ。年少になってから登園渋りも多くなり、落ち着いて過ごせる環境ではないのかな？と思っています。</li> <li>• クラスを自由に移動して好きな所で遊べるなら、たて割りクラスを作る必要性があったのかどうか考えさせられます。</li> <li>• たて割り保育になり、年少の子のトイレトレーニング途中の子への言葉かけが少なく、うさぎ組での流れがなくなったように感じました。</li> <li>• 年上のお兄さんお姉さんをお手本に、やってみたいと感じ、挑戦・練習し、出来るようになった喜びを味わっています。親としても見ていてうれしいです。</li> <li>• たて割り保育は、子どもも他の年齢の友達と遊んで楽しいみたいですが…。クラスには少し不満があるようです。もう少しバランス（一緒に遊んでいる友達とか、女子と男子の人数）等も考えてクラスのメンバーを決めてほしいです。</li> <li>• 週1でいいので年齢別のクラスの日を設けてほしい。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 初めての取り組みですので、ご指摘のとおり、問題点などがあったかと思いますが、4月当初から何度も協議して細かな修正・変更を重ねて現在に至っています。</li> </ul> <p>たて割り保育は、異年齢の子と一緒に遊び関わることを通して、ともに学び合い、成長していくことを目的にして導入しました。私たちはこの半年間の活動を踏まえて、改めて、たて割り保育の良さを実感しています。特に2歳児までの保育士の配置は子ども6人に1人で「保育者は教え導く存在、子どもは教え導かれる存在」という関係性が強くなりますが、3歳になると子ども20人に1人の配置となり、「保育者は教え導く存在、子どもは教え導かれる存在」という関係性で育まれる成長よりも、たて割り保育で「異年齢の子どもと一緒に遊び関わることを通して、ともに学び合う」という新たな関係が加わることで、さらなる成長が促されます。このことは、左記のアンケートの記述をはじめ7割の保護者に好意的な評価をいただいていることから多くの保護者も実感していただいているのではないのでしょうか。</p> <p>たて割り保育での生活は子どもなりの小さな社会です。そこでは毎日のようにトラブルあり、意地悪あり、けんかもあります。また、親切にされたり、助け合ったり、仲直りしたり、褒められたりなど、遊びを通して様々な人間模様が展開されています。私たちはこのような社会の中で、自分でトラブルを回避・解決したり、目下の者への思いやり、困っている人を助けたりする等、これからの学校生活や社会でたくましく生きていく力を身に付けるための素地を養わせたいと願っています。</p> <p>たて割り保育につきまして、改めてご理解とご協力をお願いいたします。</p>
<p>うんと動く会</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>• うんと動く会は、従来の運動会の方が良いと思います。自主性が発揮されているとは思わなかったです。練習や努力をして達成感を味わってほしいです。</li> <li>• (前段の文はたて割り保育の項に移動) うんと動く会に関しても名前をわざわざ変えて内容をガラッと一新させるのはどうかと…。何となく締まりがなくダラダラした感じで一体今何をやっているんだろうと思いました。どちらかというと発表会みたい。小学生になれば“運動会”という名の競争に戻るんだし、今まで通りで良い気がします。せっかくなら ちびっこ3本引き大会とか厚真らしさを織り交ぜた競技に変えて町を知るきっかけになればいいなと思います。 ex ハスカップ玉入れ、お米(稲穂やおにぎり)、サーフィン etc.</li> <li>• 「うんと動く会」の名称は子どもにとって発音しにくく内容の変更に伴って名称まで変更しなくてはいけなかったのか疑問です。内容に関しても練習量を考慮してのことでしたが、全ての子にとって、練習や設定された場面が苦痛ではないと思うので、内容の充実を希望します。</li> <li>• うんと動く会、見る側は何を見せられているのか全く分からない内容でした。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 「うんと動く会」に沢山のご意見ご感想をいただきありがとうございました。初めての取り組みで園としてもたくさんの反省点や課題もありましたが、子どもが練習から本番まで楽しく取り組んでいたことが、一番の成果です。</li> </ul> <p>否定的なご意見が多数でしたが、その意見の根底にある運動会のイメージは、小学校の運動会や保護者自身が経験された運動会がもとになっているものと思います。</p> <p>小学校の運動会のねらいは、(参考 R5年度 厚真中央小)</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1 運動会の取り組みを通して、身体活動を活発にし、身体の健全な発達を図る。</li> <li>2 体育的な活動を通して、安全な行動や規律ある集団行動の体得を図る。</li> <li>3 児童の自主的な活動を通して、責任を果たす行動力、協調性、団結力を高める。</li> </ol> <p>それと比べて本園の「うんと動く会」のねらいは、</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• 子どもが主体となり、体を動かすことを楽しみながら、親子と保育者で「うんと動く会」に参加する。 です。</li> </ul> <p>↓ ※次ページに続く</p>

## うんと動く会

- 今年のうんと動く会は、新しい試みであったと思いますが、たて割りの良さも各個人の良さもあり発揮できていなかったように思いました。子ども自身の意思を尊重したうえで、年長、年中、年少それぞれのキラキラできる瞬間というか、「できた！！」という瞬間というか…そういう姿も見られたら良いなと思いました。子どもたちも1つ1つの行事等を経て、心身共に成長することもあるかと思っています。その機会、チャンスは次の行事（発表会）等で作っていただけたら良いな…と思います。
- うんと動く会は運動会にもどした方が良いと思います。（内容）
- 子どもの意思を尊重することも良いと思うが、そればかりだとやりたくないことはやらない、おとなしくしていられないなど、小学校に入学してからが大変になると思います。もう少しみんなで一緒に同じことに取り組む時間や運動会や発表会なども歌やダンス練習などをして協調性を身に付けられるような取り組みをしてほしい。今回の運動会は正直、見ている何をしているかよくわからず、これなら土曜日に保護者を集めての運動会？ではなく、平日の保育参観でいいのでは？と思いました。もっと子供が一生懸命頑張って練習した成果を発表している姿が見たかったです。
- うんと動く会ですが、コロナが流行して休んでいた子どもにとっては良かったですが、動くのが好きな子やお遊戯が好きな子にとっては、どうなのかな？という内容だと思います。練習を無理にする必要はないですが、やりたい子だけでも練習したらどうでしょうか？
- うんと動く会では、先生達がいろいろ工夫したり考えてくれたんだなと感じました。ありがとうございました。ただ、親としては、もう少しクラスごとに踊ったり等の取り組みを見たかったのも正直なところです。
- うんと動く会「アイドル」の時、3つに分かれてダンスや歌、楽器等やっていて、子どもたちは自由に楽しそうなのは良かったのですが、1つ1つのグループが離れすぎだのように思えます。自分の子を見たいのは勿論ですが、全体を見たい気持ちもあったので、少し残念です。ちょっと見づらかったかなと思いました。
- うんと動く会はとても残念でした。小さい物を持っていても何も見えないし、先生達も迷いがあるような感じがしました。年長さんの見所もなく、発表会がすごく心配です。
- うんと動く会の年長さんの旗づくりは子どもたちの頑張りが伝わる取り組みだった。全体の時間が短く、もう少し園の活動が分かる種目があっていいかと思った。
- うんと動く会についてはいろいろな意見があったようですが、発表会もどのように変わるのか楽しみにしています。子どもたちが楽しみながらできるのが一番だと思うので。

↓

昨年までの運動会は、ねらいをはじめ競技等小学校の運動会に準じた内容で行ってきました。今年の「うんと動く会」は、ねらいを見てわかるように今までの運動会とは違うものと考えていただきたいと思います。

これまでの運動会の課題は、発達段階に差がある一部の園児には、勝敗を競うことや（できる・できない）、（速い・遅い）など、個々の能力の差が明らかになることです。確かに一部の子にとっては、優れた能力を発揮して活躍できる場になりますが、同じく一部の子にとっては、自分が他の子と比べてうまくできないことに不安を抱き自己肯定感や自尊感情を失う機会になるおそれがあるのです。私たちはたとえ一部の子であっても園の生活の中でそのような思いをするような機会は作りたくないのです。

小学校に行っても困らないように、小学校の運動会をはじめ学習内容を先取りして備えてほしいという要望が多いです。

しかし、小学校の学習指導要領と保育所保育指針の内容が違いうように、小学校で目指すものは小学生の発達段階や学校という環境が整ってこそ可能になるのです。私たちの「うんと動く会」は、小学校の運動会のねらいにある規律ある集団行動の体得や責任を果たす行動力、協調性、団結力等をねらいにして実施するものではないことを、ぜひ、ご理解いただきたいと思います。

様々な反省点や課題などありましたが、ある保護者の方から「今までは運動会練習が始まると登園したくないと言っていた子が、今年は練習も本番も楽しそうに行っていました。」という話を聞いて、私たちが目指した「うんと動く会」のねらいの一部が達成されたものと大変うれしく思っております。

初めて取り組んだ「うんと動く会」です。沢山のご意見ご感想をはじめ、具体的な提案などもいただきました。元に戻すのは簡単ですが、園の保育目標にあるように私たち保育者も「一人ひとりのやりたい、やってみよう」「試行錯誤」を大切にしながら、次年度に向けてさらに工夫改善の努力を続けていきたいと思っています。

あらためて、今後も園の活動に対しましてご理解とご協力をお願いいたします。

うんと動く会	<ul style="list-style-type: none"> <li>今年の運動会は、子どもの視点に立った改革で素晴らしいと思いました。以前から練習の期間の午前中は自由に遊べないから（園）で楽しめてるかな？と疑問でしたが、今年は楽しそうでした。当日はお遊戯が無くても”観せる工夫”がなされていて、楽しく観させて頂きました。アナウンスを聞いて自主的に動いたり、周りを見て気付いたりして集団行動が出来ている事に成長を感じました。保育参観では「ママ見てー」と普段の公園遊びと違いがなく参観へ行く必要性を感じなくなってしまいましたが、今回の運動会では本当に見たかった園での様子を見ることができたように思います。ありがとうございました。</li> </ul>	※前ページの「うんと動く会」の欄にまとめて記述しました。
--------	--	------------------------------

・沢山のご意見ご感想や具体的な提案などをいただきありがとうございました。賛成・反対、どんなご意見でもお子さんを預けている園の活動に関心を持って見て頂いている方がたくさんいるということが私たちの励みになります。

保護者も、私たち保育者も、このアンケートの限られた紙面では伝えきれなかった思いが沢山あることと思います。私たちも時代の変化に柔軟に対応しながら、未来に生きる人間を育てるための保育を目指して「試行錯誤」「悪戦苦闘」の毎日です。子育ては、保護者と園と地域の協働作業と言われています。3者が人任せにせず、互いに関心を持って子どもを見守ることが大切です。

アンケートに限らず、質問、疑問、感想、意見、提案、苦情等、いつでも受け付けています。特に事故や怪我につながる安全上の問題等は、出来るだけ多くの目で見えて、気になる程度の段階のものでも躊躇せず声をかけてください。よろしくお願いいたします。